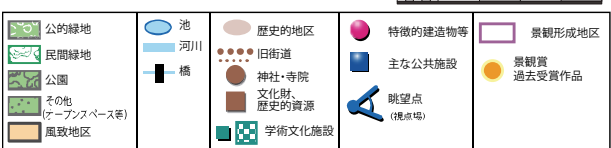
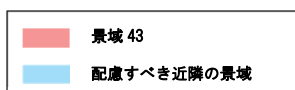


景域 43 JR 以南(西部)界限



● 市市民環境会議の活動・・・市全域

幹線道路沿いの商業施設などによるにぎわいと下町風情の残る住宅地の景観

地形

平坦な地形が広がっており、JR東海道本線や阪急千里線が通っています。

歴史

古くから水田があり、戦前の耕地整理により整然とした通路が張り巡らされ、これらは現在の区画道路の基礎となっています。

戦前から幹線道路沿いには住宅などが広がっていましたが、その他の農地だったところでも戦後から高度経済成長期にかけて宅地化が進みました。

土地利用

戸建住宅や集合住宅を中心とする土地利用となっていますが、大阪内環状線沿いなどでは、商業業務施設も立地しています。

都市活動・暮らし

昔からこの地に暮らしている人が多く、高齢化が進んでいるところもありますが、下町的な風情が感じられるまちとなっています。



戸建住宅を中心とする景観



幹線道路沿いの商業施設・集合住宅

落ち着いたある住宅地の雰囲気をまもりつつ、幹線道路沿道のにぎわいをつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 外壁や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりを感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- ＪＲ東海道本線や阪急千里線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 35, 36, 37, 40, 42, 45